

## 第 8 期 YDEC ケーススタディ参加希望者募集のご案内

YDEC メンバー各位

一般社団法人 日本ダイカスト協会  
YDEC 運営部会長 林 勇人

### ごあいさつ

YDEC は、ダイカスト及びそれに関連する業務に携わる若手エンジニアの技術的知識の習得と、問題解決スキルの向上を目的として、下表のようにこれまで 7 回に渡る不良対策のケーススタディを開催しております。現場現物の確認と分析の重要性、現象と理論の結びつきの見える化、真因に対する対策効果の有効性など、第 1 期～第 7 期の活動では活発な討議を通じてこれらの手法を学ぶことができ、ケーススタディ参加者には大変好評でした。ここに YDEC 会員の中から参加希望者メンバーを募りたいと思います。

YDEC 運営部会では、更にレベルアップするための改善を織り込みながら不良対策のケーススタディを運営していきたいと思っておりますので、奮ってご参加ください。

(参考)

	活動期間	テーマ		
第 1 期	2007 年 4 月～2008 年 4 月	① 鑄巣	② 製品の歪・曲り	—
第 2 期	2009 年 1 月～2010 年 2 月	① 鑄巣	② 流動不良	—
第 3 期	2010 年 12 月～2012 年 2 月	① 気密不良	② 流動不良	③ 焼付き不良
第 4 期	2013 年 4 月～2014 年 6 月	① 気密不良	② 流動不良	
第 5 期	2016 年 4 月～2017 年 3 月	鑄巣, 気密不良, 欠け込み等 3 グループ		
第 6 期	2019 年 4 月～2020 年 3 月	鑄巣, 欠けこみ, めっき不良等 3 グループ		
第 7 期	2021 年 6 月～2022 年 5 月	鑄巣, 圧漏れ, 湯回り不良, 欠け込み		

### 1. 目的

ケーススタディでは、具体的な事例を題材にしたディスカッションを通じて、技術的アプローチ、技術知識を勉強することを目的としています。

このディスカッションを通じて、ダイカストにおける問題点(現象)と科学的理論との論理的な結びつきを明確にしていくための手法を学ぶと共に、メンバーの技術レベルの向上を図っていきます。またメンバー相互の自主的な活動を主体としており、ケーススタディ終了後もメンバー各自がそれぞれの業務に活かせることも目的としています。

### 2. 今回のテーマ

今回も前回の第 7 期と同様、募集のためのテーマは、決めません。テーマは、参加者が解決したい不良(欠陥)が個々のテーマとなります。日頃、気になっている不良製品があることが前提となります。

### 3. 進め方概略

- 1) 各自が不良の製品や事例(できるだけ詳しく)を持ち寄り、それぞれに対してケーススタディを進めていきます。製品は鑄造品そのものが望ましいのですが、顧客秘匿義務などで困難な場合、議論に際して最小限必要な部分のみでも可とします。

- 2) メンバーを 3 名以内にグループ分けして、各自の製品を分析して原因ごとに分類します。参加者が持ち寄った不良製品について、各自でその不良をもとに科学的手法を習得しながらケーススタディを進めていきます。また、進めるにあたり各自の課題(宿題)を次の会合までに必ずやってきて頂きます。
- 3) 原則としてミーティング形式で行います。より積極的かつ緻密なコミュニケーションを行うことが目的です。ただし、開催通知や宿題内容の進捗等の確認は、各回ごとにメールで行います。
- 4) ミーティングは、12回を計画しています。活動期間は、約1年を予定しています。
- 5) 活動期間中、メンバーは固定させていただきます。途中参加は認めておりません。同一の社内でのメンバー交代は認めておりますが、両者間での十分な引継ぎが行われることを条件とします。
- 6) 活動報告会については、メンバーの上司1名に限り、参加を認めます。

#### 4. 日程案

現時点での具体的なスケジュールとして、下表のような案を考えております。種々の要因により遅れることもあります。また、各グループ内で必要と認められた場合には、別途ミーティングなどを行うこともあります。

	年/月/日	内容
第1回	2023/4/11	キックオフ、なぜなぜ分析の解説
第2回	2023/5/18	設計指針の技術講座開催
第3回	2023/6/2	不具合要因の推定(なぜなぜ分析)
第4回	2023/6/29	仮説の立案、対策立案(仮)
第5回	2023/7/10,11,13	上野分析室での分析作業・討議
第6回	2023/8/24	分析結果に対し、なぜなぜ分析
第7回	2023/9/22	仮説の立案、対策立案
予備	10月	対策の効果を確認するため必要に応じ、上野分析室
第8回	2023/10/30-31(仮)	対策の効果確認(工場見学・合宿)
第9回	2023/11/30	中間報告
第10回	2024/1/18	対策の効果確認
第11回	2024/2/15	対策結果のまとめ
第12回	2024/3/15	成果発表会

#### 5. 参加資格

- ・ パソコン(パワーポイント、エクセル、ワード)を使って、メールの送受信ができる人
- ・ ダイカストの基礎的な知識を有している人でダイカストの実務経験が1年以上あり、現在困っている不良や問題点を必ず撲滅したい、という熱意のある人。
- ・ 1年間参加できる人

#### 6. 参加費

- ・ 27,500円(税込み)
- YDEC 研修会(合宿)や YDEC 講演会・懇談会への参加は、別途費用が発生します。

#### 7. その他

- ・ 上記のような形態での運用であるため、応募人員数によっては、お断りする場合がございます。
- ・ キックオフおよび会合については東京で開催します。他の YDEC の講座にあわせて開催する場合は、その開催地で開催することとします。

参加申込締切 2023/3/31(金)

お問い合わせ先: 協会事務局 浅田 TEL 03-3434-1885 [asada@diecasting.or.jp](mailto:asada@diecasting.or.jp)

## 第8期ケーススタディ参加申込書

この度は、ケーススタディ参加希望者3グループ9名(1社2名以内)の募集をいたします。グループ編成を行い、キックオフ(2023年4月11日)の開催にてケーススタディがスタートします。なお、参加希望者は、下記の質問項目に回答し、3月31日(金)までにメールまたはFAXにて事務局に返信していただくよう、お願いいたします。グループ編成後、参加の可否を連絡しますのでご連絡後参加費をお振込み下さい。

名前			
会社名			
部署名			
メールアドレス(個人)			
ダイカスト実務経験年数	年	QC活動経験年数	年

・ケーススタディを行うに当たり、不良の製品と現在お持ちのデータなどを書ける範囲で具体的にお書きください。

例1) 不良内容:加工面の巣  
①製品名②不良率③X線写真④発生部位の写真⑤客先スペックなど

例2) 不良内容:未充填不良  
①エンジンブロック②不良率10%③写真1~5④ボス部湯回り不良  
⑤強度、歪み、漏れ等あり(具体的数値.....)